

令和元年度

地方創生推進交付金

事業評価書

三重県明和町

# 地方創生推進交付金事業 事業評価書

作成日

令和2年5月10日

事業分野	⑤観光振興(DMO)等の観光分野				
事業名	めいわのチカラ 地域資源を活用した産業・観光トータルプロジェクト				
事業期間	始期	平成31年4月	～	終期	令和2年3月
担当課・係	斎宮跡・文化観光課		記入者	西村 恵美	内線 621

事業の目的	<p>設立された明和観光商社が、町の観光・地域商社機能の中心的役割を担い、観光来訪者の増加のみならず、特産品の販路拡大・新商品開発や町内の農家や空き家を活用した農泊・民泊による宿泊施設不足の解消等、多くの事業を一体的・複合的に推進することにより、明和町の特色を発揮し、観光・地域経済の振興につなげていく。また、明和観光商社が明和町の産業・観光の底上げをするとともに、事業実施による雇用創出や付加価値の向上などにより、地域経済を牽引し、高い経済波及効果とまち・ひと・しごとの好循環を生み出すことを目指す。</p>
現状と課題	<p>町においては観光入込客数は17万9,761人(H27)から微増で推移しており、大幅な増加にはつながっていないのが実情である。</p> <p>町の振興、とりわけ観光振興のためには、地域の行政や事業者が気付いておらず、いまだ引き出し切れていない地元にある地域資源を発掘・情報発信し、最大限活用することが必要であり、行政や事業者が個々に取り組むのではなく、観光DMOを中心として関係団体と連携し、地域を挙げて取り組むことが必要となっている。</p>

個別事業名	事業の評価						事業内容の詳細	
	事業費及び評価 <small>事業費は単位：千円</small>	令和元年度						
		事業費	政策5原則評価					
地域資源を活用した産業・観光トータルプロジェクト	国庫補助金	22,584	自立性	将来性	地域性	直接性	結果重視	総合評価 C
	県支出金							
	起債							
	その他( )							
	一般財源	22,585						
	事業費計	45,169						
財源内訳	国庫補助金		自立性	将来性	地域性	直接性	結果重視	総合評価
財源内訳	県支出金							
財源内訳	起債							
財源内訳	その他( )							
財源内訳	一般財源							
財源内訳	事業費計							
事業費合計		45,169	※3(主旨に完全一致)、2(概ね一致)、1(一部一致)、0(不一致)の4段階で記入					

予算科目別執行状況

予算科目	執行額(円)	執行内容
2.1.7.19 (負担金補助 及び交付金)	45,169,410	一般社団法人明和観光商社への交付金

評価視点	評価コメント			
事業構成の妥当性	明和観光商社が行政、企業、団体、個人と連携して地域資源を活用し、観光や産業の中心的な役割を担い地域経済を牽引し、経済普及効果を向上させるのは妥当と考える。			
総合戦略で設定した KPIとその達成度	設定値	①	【KPI】10,000,000円 ふるさと納税手数料	【達成度】0円 受託について観光商社と町との調整から2020年からの事務移行となった。
		②	【KPI】0円 ECサイト販売手数料	【達成度】 ECサイトの立ち上げ、システム構築等準備段階であり2020年より開始。
		③	【KPI】300,000円 旅行商品販売額 (滞在型交流プログラム)	【達成度】171,100円(57.0%) 新型コロナウイルスの影響を受け、ツアーを中止し目標定員を達成できなかった。
		④	【KPI】600,000円 開発した商品等の販売額	【達成度】444,200円(74.0%) 新型コロナウイルスの影響を受け商品販売等のイベントが中止になったため。
地方創生推進に 関する貢献度	観光DMO候補法人である明和観光商社が、これまで行政や事業者等が単体で行っていた観光振興と地域資源を活用した産業振興の取り組みを一体的に行うことにより、効果的かつ効率的な取り組みとなる。地域未来投資促進法における三重県の基本計画に基づく地域牽引事業者として明和観光商社が地方創生推進事業の実施を通じ、特産品の開発やヘルスツーリズムの商品化をはじめとする新たな観光・地域資源の発掘、付加価値の創出、雇用の創出につなぐことができる。			
総合評価 (今後の展開など)	<p>1年目となる令和元年度は、事業実施体制を確立するための人材を確保するため、商社メンバーの育成とともに地域内での支援人材の育成も併せて行った。また、観光商社自身の魅力をアップするため各施策にかかわる大学と連携し地域資源を活用した商品開発やPR支援事業を実施し、DMO組織の魅力向上に努めた。</p> <p>観光産業プロモーション動画を作成し、明和町の魅力をPR。また明和町が持つ様々な魅力(暮らしやすさ・文化・観光資源・人・行事など)をWebマガジンの記事として作成しSNSやWEB等で掲載することにより、情報拡散の取り組みを強化し明和町の認知度・イメージの向上を図った。</p> <p>次世代を担う若者から明和町の観光・産業をはじめとするまちづくり、ひとづくりに関する柔軟なアイデア・提案を公募し新たな施策につなげるためセミナーを開催。</p> <p>平成29年から行ってきたヘルスツーリズム推進のための人材育成養成講座を開催するなどヘルスツーリズムの組織づくりを推進し体制整備を行った。日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ斎宮」や明和町ならではの農林水産物、伝統工芸品、ヘルスツーリズム商品などを組み合わせ観光客を実際に誘客しツアーを実施した。</p> <p>ネット上の仮想商店街で「売れる商品づくり」を仕掛け、収益性のあるECサイトの仕組みを構築した。</p> <p>宿泊施設が少ない明和町において、滞在交流型の観光を進め、地域経済・観光の活性化を図るために、空き家活用ワークショップを実施し、活用できる空き家の条件等を検討し、空き家を活用した農泊民泊事業の基盤調査を行った。</p> <p>これらの様々な事業を通じて町の魅力を発信し、町の産業や観光などの施策に総合的に取り組み、地域と連携して町の活性化をめざす地方創生事業を推進するための基礎作りを行った。</p> <p>今後、新型コロナウイルスによる感染の第2波第3波も懸念されるが、オンライン会議等あらゆる手法を駆使し、各事業をできることからすすめて地域経済の牽引につながるようより一層取り組みを行っていく。</p>			
今後の見直し等について	令和2年度については、各事業の深化を図り、収益性や地域のニーズに合わせた取捨選択、見直しを立て、自立化に向けてさらなる取り組みを進めていく。			